

# ルネサス株主の皆さまへ

## ルネサス懇

### 将来はアメリカの会社に？ 業績低迷はコロナ以前の問題

昨年アメリカの半導体会社IDTを買収するとともに、巨額の借金を抱え込んだルネサス。買収を決定した当初は年間に2千億円ずつ返済すると言っていたものを、早速昨年には1千億円と言い換えました。2019年12月末には、まだ8千億円近い有利子負債が残る一方、営業利益はわずか68億円。完済への道のりは長いと言わざるを得ません。無茶なリストラで社内は疲弊し、頼みの自動車向け半導体も伸び悩んでいます。根本原因はどこにあるのか、今後どうなるのか、株主の目線からチェックをお願いいたします。

#### ①株主総会から3ヶ月でCEOが交代！

何で私だけが

さよなら

昨年の株主総会で承認されたはずの呉CEOが、わずか3ヶ月で退任へ。この謎の人事が、誰のどのような思惑でなされたのか、いまだ不明です。

#### ③実はアメリカに貢いでいるだけ？

海外

IDT

インターシール

国内

リストラ

培黒土

国内の大リストラによってねん出された一時的な利益は、海外企業の買収で消えました。M&Aにおける株式の譲渡で巨額の富を得たのは海外（米国）資本です。買収後も、国内だけがリストラされ、海外にはR&D費やストックオプションが注がれています。

#### ②大義なきリストラの影響は？

巨額買収のつじつま合わせで実行されたと思えない昨年の早期退職では、1500名が退職したとの一部報道もあります。経営責任をあいまいにしながら社員に責任を押し付けたリストラには、多数の方が自主退職を選びました。特に問題なのは、注力事業である自動車向け半導体の部門や、代替の効かない法務などの部門から、多数の退職者を出したことです。

いま自動車部門の成長が遅れていることと、リストラの関係について、経営者は説明する責任があります。

#### ④日本製造業壊滅の危機

国内リストラ

海外が主導権

米国企業化

半導体産業が米国傘下に

自動車産業も米国傘下に

最悪のシナリオは・・・

エルピーダ、東芝メモリ、そしてルネサスも米国資本に吸い取られ、やがて自動車産業までもが米国傘下に？

<発行者>  
ルネサス関連  
労働者懇談会  
(ルネサス懇)  
  
〒142-0043  
東京都品川区二葉2  
-20-8染野ビル2F  
(電機労働者  
懇談会気付)  
(03)6421-5323

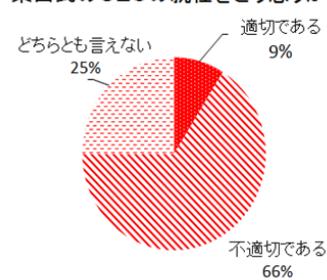


# 柴田CEOで本当に良いのか

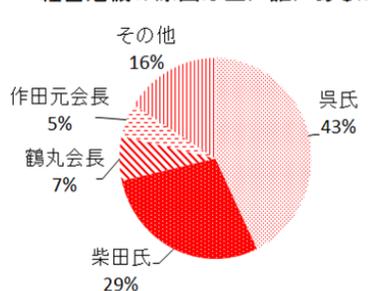
昨年6月の呉CEOの突然の退任のあと、CEOを引き継いだ柴田氏。「まだ就任して9ヶ月しか経っていないから、改革もこれから」と、大目に見ていて良いのでしょうか。柴田氏は2013年6月に取締役役に就任し、同年11月にはCFOに就任。以後6年半にも渡ってルネサス経営の中枢に居た人物です。いまのルネサスの姿に最も影響を与えてきた一人だと言えます。呉前CEOだけに責任を押し付ける格好となった昨年の人事に、社員は大いに疑問を抱いています。

「CEO交代アンケート」の結果より（詳細はルネサス懇ホームページに掲載）

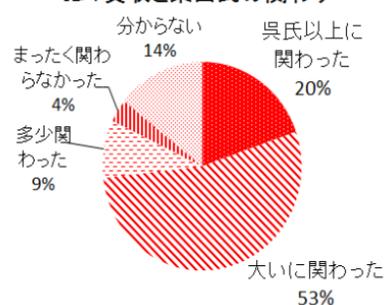
柴田氏のCEOの就任をどう思うか



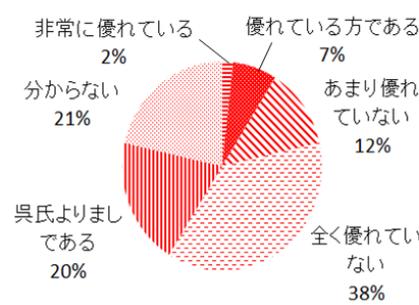
経営危機の原因は主に誰にあるか



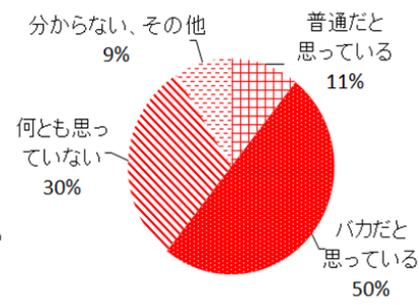
IDT買収と柴田氏の関わり



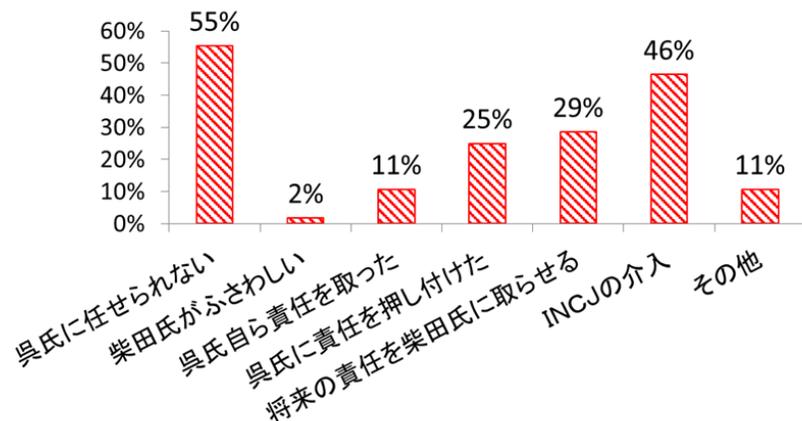
柴田氏の力量をどう見るか



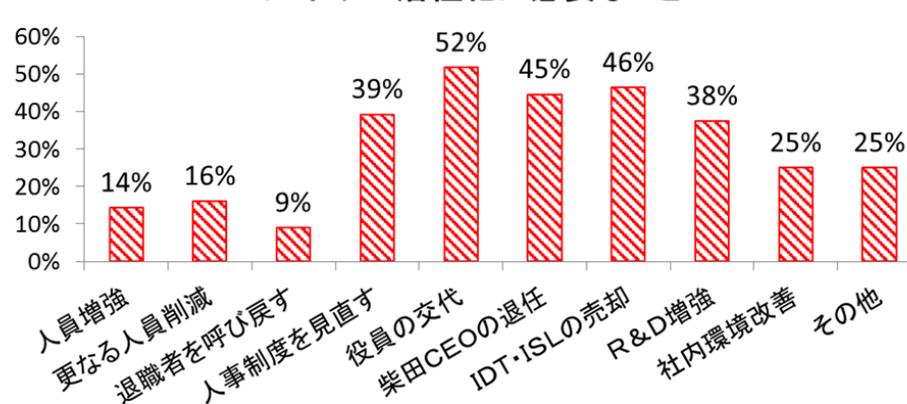
柴田氏は社員をどう思っているか



CEO交代の原因



ルネサス活性化に必要なこと



上のアンケート結果を見る限り、ルネサス社員と柴田CEOとの間に信頼関係はありません。社員の多くが望むのは、柴田CEOをはじめとする役員退任であり、無謀な買収で得た海外企業の売却による財務体質の立て直しです。